

「第8回 新潟県渋滞対策協議会」の会議結果概要

1. 開催日時

平成 29 年 7 月 31 日（月） 10:30～11:30

2. 開催場所

国土交通省 新潟国道事務所 B棟会議室

3. 議事内容

- ①渋滞対策の進め方
- ②これまでの検討経緯
- ③主要渋滞箇所の見直しについて
- ④ピンポイント渋滞対策
- ⑤その他の視点
- ⑥今後の進め方について

4. 議事要旨

(1) 渋滞対策の進め方

- ・ 渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化して、利用者目線で渋滞箇所を特定し、対策を促進するといった方針が掲げられている。
- ・ タクシー・ハイヤー協会等も箇所の対策推進に協力し、連携して取り組んでいきたい。

(2) 主要渋滞箇所の見直しについて

1) 交通状況の変化

- ・ 主要渋滞箇所が選定された平成 24 年からの 5 年間に、新潟県各地で新たな道路の開通やスマート IC の設置、新駅の整備が行われている。それに伴って混雑緩和や、新たな渋滞が発生している可能性が考えられるため、その確認が必要。

2) 大型店舗の新規開業

- ・ 新潟県内における大規模店舗の申請件数は過去 10 年間で 150 件。それに伴って、周辺交通に影響を及ぼすことや、交通渋滞の発生が考えられるため、その検証が必要。

3) 主要渋滞箇所の解除・追加

- ・ 新潟県内の主要渋滞箇所 303 箇所について、最新のデータを用いて見直しを実施予定。
- ・ 主要渋滞箇所の追加・解除フローで、パブリックコメントについて記載されていないので、今後、取り扱いを検討する。

(3) ピンポイント渋滞対策

- ・ ピンポイント対策の候補箇所は、今後の追加・解除箇所も含めて検討していく。ここでは、長岡市の交差点で設置予定の左折レーンについて説明がなされた。

(4) その他の視点

- ・ 今後増えることが見込まれる訪日外国人への対応も含め、観光地周辺の渋滞対策を実施し円滑なアクセスを確保することが必要。

以 上